



学び合いをセルフプロデュース

今年で
50
スゴい！
年

学校で、支部で、各研究会で、全県で、全国で。

究めたいことを、
究めたいときに、
究めたい人たちで。

1. 月会費 500円or200円
2. 総研、全国規模学習会旅費全額支給
(※総研＝総合研究会は年5回開催)
3. 日々困っていること、ささやかな疑問から
授業の妙技、最新の教育論、教育哲学まで、

みんなで学べる自由
空間。

学校で、支部で、各研究会で、全県で、全国で。

教文
会議

長野県教育文化会議
長野市県町593
<http://kyobun-kaigi.org>
TEL 026-234-2216 FAX026-234-2219
E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp



教文会議のHPをご覧ください。研究会や会議の詳細、申込み申請各種こちらから。
左のQRコードで、または、「長野県教文会議」で検索してください。

長野県教育文化会議

「いっしょに学びませんか!」 We will learn and glow together!

長野県教育文化会議は、高校教職員を中心とした自主的な研究団体です。

今年度、創立50周年を迎えます。2019年度も多彩な講師をお招きしました。

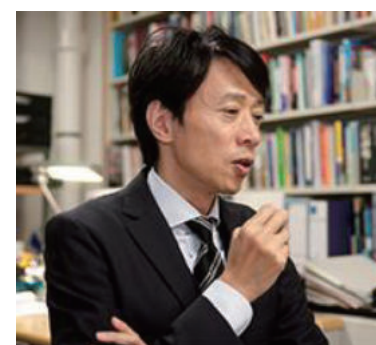
第1回総合研究会 児美川孝一郎さん（法政大学）

「公教育が溶けていく!? 高大接続改革、新学習指導要領、Society5.0は、高校教育をどこに導くのか?」



第2回総合研究会 楠凡之さん（北九州市立大学）

「特別支援と保護者との共同—自閉スペクトラム症の生徒の問題を中心に」



第3回総合研究会 勝野正章さん（東京大学）

「グローバル新自由主義のもとにおける教育と教員」

「教育というのは、子どもの自己との出会いや他者との出会いや文化との出会いを意図的・組織的に計画をしていくことを本質としています。しかし、それは大人の望み通りに子どもを形づくるということと全く同じではなく、子どもが自分自身の主人公となる、そういうことを目的としている活動です。であるならば、ある意味でのおおらかさを持った『開かれた学校づくり』の機会というのは教育にとって、大変かけがえのないものであると思っています。」（勝野先生のことばより）



第4回総合研究会 植田健男さん（花園大学）

「今次学習指導要領改訂の特質と私たちの教育課程づくりの課題
— 「高大接続改革」の行方を見据えて」



第5回総合研究会 宮下与兵衛さん（首都大東京）

「シカゴの民主主義教育・市民性教育調査報告」



進路指導全県研究会 **上西充子さん** (法政大学)

「現在の高校生等、若年労働者の就職問題について」

「これだけ社会的にも働き方が変化しており、ライフコースも多様化している時代には、「きちんと正社員になって、会社でキャリアを伸ばしていけ」というより、「人生いろいろなことがあるけれど、きちんと生き延びていけるようなスキルを身に着けていこうね」というメッセージのほうが現実的です。長期的な目標としては、やはり主体としての労働関係の当事者をどう育てるか、ということになります。「労働法と現実とは違うし、社会を変えるのは無理だよ」という思いで学校を卒業してしまいう前に、教育のなかできちんとエンパワメントする必要があると思っています。」(『現代思想』vol.47)

長水支部教研 (8/31) **渡辺雅之さん** (大東文化大学)

「共に学びあう道徳教育-いじめや差別を乗り越える-」



上小支部教研 (9/7) **鈴木大裕さん**

(教育研究者、土佐町議会議員)

「先生が先生になれない世の中で～公教育の今と未来を考える～」



佐久支部教研 (10/4) **鈴木大裕さん**

「公教育の今と未来を考える-土佐町からの発信」



諏訪支部教研 (9/21) **斎藤貴男さん** (ジャーナリスト)

「格差社会と主権者教育」

上伊那支部教研 (9/21) **山本由美さん** (和光大学)

「昨今の教育改革がもたらすもの」

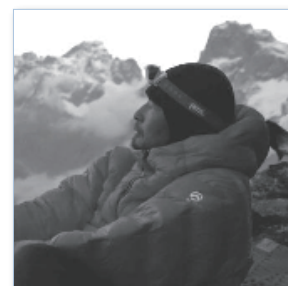
下伊那支部教研 (9/21) **鈴木文治さん** (元川崎市麻生養護学

校校長) 「共生社会の実現をめざして～インクルーシブ教育～」



松筑支部教研 (9/21) **馬目弘仁さん**(登山家)

「挑戦を続ける原動力」





安曇支部教研 (9/28)

飯尾和也さん (元松本山雅FC選手・パーソナルメン

タルサロンホラソン代表)

「夢を持ち楽しい人生を歩むためのメンタリティー」

2020年度、開催する研究会

第1回総合研究会 (4/18 13時 松本市勤労者福祉センター)

テーマ「ジェンダー平等教育を考える」

牟田和恵さん (大阪大学)

「学問・教育の危機とジェンダー

～家族社会学者 / 杉田水脈裁判の原告として」

『孤独死』や『無縁社会』といった言葉がしばしば論じられ、人々の不安をかきたてているが、そうした現象は、人の生きる支え・よすがを、**極小**

の人間関係である親子や夫婦の家族に負わせ、それ以外の人間関係をつむぐ機会が**構造的に奪われて**きたことの結果に他ならない。人が生まれ、育ち、はたらき、そして老い衰えていく中で、安定して次の世代をつないでいくには、**自明とされてきた家族を超える**つながりがどうしても必要なのだ。」(『人間と教育』2018夏)



第2回総合研究会(7/18 松本市内)

テーマ「どう対応するのか? 高校学習指導要領で変わる学力感・授業内容」

河合美喜夫さん (中央大学特任教授・教科研全国委員・歴史教育者協議会 / 論文『教育』2019. 11)

「教育やリベラルアーツといった教養的な力量を育てることが大切になっている。たとえば、**主権者**としての政治的教養や**メディアリテラシー**も必要となろう。読書や新聞を読むことを通して、疑問を持つ力や**批判する力**を育てたい。そしてなによりも、学問を学ぶことの難しさや喜びを得てほしい。仮想的な「未来社会」ではなく、**よりよい社会**をどう実現するのかを考えるのも、**高校教育で育てる**力だと思う。こうした**ベーシックな教養**がより専門的な学びを創造し、人格形成を育む力となる。」(『教育』2019. 11)



紅野謙介さん (日本大学 / 著書『国語教育の危機』ちくま書房 2018)

※ 2019年度国語教育研究会全県研究会でもお呼びしました。

「複数の「他者のことば」を教室に取り入れることによって、教師—生徒という**縦の関係**に終わらない力学を導入してきたのです。いま、そうしたアンソロジーの思想が教室から追い払われようとしています。教材に依存しないというのは聞こえがいいですが、実際には生徒たちの「**主体的**」活動をコントロールする教師の**一元**

的な支配を強化することになるのではないのでしょうか。「ことば」そのものの危機が来ている、私は強くそう感じています。」(『現代思想』vol.47)

第3回総合研究会(7/19 松本市内)

テーマ「生徒理解～トラブル対応の要点を中心に～」

小栗正幸さん (日本LD学会名誉会員・元法務技官・宮川医療少年院長)

「高校における配慮が必要な生徒への生徒指導」

※第4回総合研究会は11月23日、第5回総合研究会は2021年1月23日に開催予定です。

県教研 2020 in 長野



日時 2020年11月7日・8日

会場 長野市若里文化センター

長野東高校・長野市三陽中学校

内田樹さん

(神戸女学院大学名誉教授・武道家)

テーマ「教育の危機 教育の未来」

内田樹の研究室 「街場の教育論」

韓国語版序文より

「子どもたちの相対的な優劣を競わせ、格付けを行うこと」は教育にとってとりわけ優先的な仕事ではないと僕は思います。子どもたち同士に優劣を競わせて、格付けを行ない、高いランクの子どもを厚遇し、低いランクの子どもを処罰するというのが子どもたちの市民的成熟に資すると僕は思いません。僕の知る限り、「競争と格付け」が子どもたちを成熟させる、子どもたちの生きる力を高めるということを科学的に証明したエビデンスは存在しません。そんなエビデンスがあるわけではない。

教文会議とは

学びたいことを、学びたいときに、学びたい人が集まって、学び合いをみんなでプロデュースします。日々、困っていること、ささやかな疑問から、授業の妙技、最新の教育論、教育哲学まで、みんなで学び合える自由空間です。

日々の実践の中から生まれるリアルな現場の声、悩み、喜びの共有から

日常の実践を、地域社会から世界までをつなぐ視点で捉えなおすこともできます。

学校現場の目の前の生徒から出発する実践力を一緒に学び合いましょう！

現在の混迷の時にあって、何を大切にしたらよいか。

教育学者であるボストン・カレッジ教授のアンディ・ハーグリーブスの言葉を引きたいと思います。

Andy Hargreaves 「**地域社会の学校と教師**」より

「学ぶことは、隔離病棟で目標に向けて競い合う単なるレースになってしまった。教師の時間は技術的なタスクで埋め尽くされ、子どもたちに創造性や想像力、そして関係性を育む時間が無くなっている。」

「教師は学びの伝達者ではなく学びの開発者である。」

「教師たちを、他人が作った計画を単に遂行する技術者や道具とすることではない。さらに、教師たちは子どもの世界へとかかわるのと同じくらい大人の世界で活動する必要がある。」

教文で教育力の向上を

組合で生活の向上を

教文活動と組合活動は車の両輪です。どちらが欠けてもすまない。

自主的で自由で豊かな学びの場をつくっていきましょう！

会費

月額 500 円（県の会費 確定申告で年額 6,000 円の一部が還付されます！）

月額 200 円（常勤・非常勤講師・再任用職員 確定申告で年額の一部が還付されます！）

教文主催の総合研究会、支部・県教研への参加費は無料。旅費・宿泊費は、全額支給します。

その他の研究会・学習会の旅費・宿泊費も、全額支給または一部補助します。

（詳しくはご相談ください。）



長野県教育文化会議

〒380-8790 長野市県町 593

電話 026-234-2216

FAX 026-234-2219

Email : kyobun.nagano-h@educas.jp

◆加入届にご記入いただき、所属校の教文委員か分会長へお渡してください。

加 入 届

□に✓を記入して下さい

年 月 日

長野県高等学校教職員組合に加入します

長野県教育文化会議に加入します

***必要事項を記入して、職場の組合代表の方へお渡しください。**

職場名		職員番号	
フリガナ			
名 前			
生年月日 (西暦)	年	月	日
給料号俸	級	号俸	(不明の場合は事務室にお問い合わせ下さい)
職 名		教 科	
住 所	〒		
		連絡先 TEL	
メールアドレス		@	

全教共済加入申込案内 ***当年度新規採用者は自動的に加入となるため、✓は不要です**

☆新規採用者には総合共済・生命医療共済3ロセット掛金について1年間、高教組が負担します。

2年目以降は自動的に給与から実費分引き去りになります。不要な方は解約手続きが必要になります。

★加入を希望されるものに✓をつけてください

「総合共済」に加入します

結婚年月日 年 月 日 (結婚記念日祝金に使用します)

* 積立掛金は 退職・退会時に金額お返しします

* 主な給付・結婚祝金、出産祝金、結婚記念日祝金、クリスタル給付など

・死亡見舞金(本人・配偶者・子供・親)、火災見舞金、長期療養見舞金など

「生命・医療共済」に加入します

* 掛金は加入年齢で変わりますので、パンフレットで確認ください

* 主な給付(3ロセットの場合) ・死亡保障300万円(生命共済)

・入院給付 3,000/日、がん入院6,000/日・手術見舞金・先進医療技術料(医療共済)

○詳しくは全教ながの共済(TEL 026-234-8382)にお問い合わせください

・ご記入いただいた個人情報(組合・教文会議・全教共済)のご案内のみ使用いたします

高教組使用欄	受付日	CD	組織部	DB	教文
何も記入しないでください					

教文と同時に組合のご加入も!! 教文で教育力の向上を 組合で生活の向上を

えでゆきゆる

研究会登録特集
発行 教文通信編集部

各研究会の紹介 研究会長からのメッセージです！

社会



高校の社会科の授業はこれから大きく変わらなれないといけない時期にきています。ICT機器が全県に設置され、それをどのように授業の中で使っていくのか、また、生徒が興味や関心をもって、より主体的に授業に取り組めるようにするには、私たち教師はどのような授業を創造していったら良いのか、などの課題があります。教文社会科を通じて、多くの先生方と交流し、お互いに刺激を受け合いながら、これからの授業創りを考えていきましょう。一人ではなくみんなで考えていきましょう。

(研究会長 春日雅博)

外国語

もっと良い授業がしたい！そのために、私たちは生徒と共に学び続けなければなりません。常に変化の波に翻弄されてきた外国語(英語)教育の中で、職場教研や支部教研、小中高の教員や研究者が一堂に集う県教研は、今まさにその価値を増しています。授業実践や問題意識を持ち寄って、皆で語り合う前向きな雰囲気があります。「教研で学んだことを早く次の授業に活かしたい」という気持ちになります。ぜひ気楽にご参加ください。大いに語り合しましょう。

(研究会長 丸山大樹)

数学

教文の活動としては、県教研で日頃の授業実践などをレポートにして発表する形態がおもなことであります。しかしノルマがあるからレポート発表するのでは苦痛になってしまいます。だからといって何もしないのではさみしいものがあります。知識や技術、そして刺激が日々の学校現場には必要です。以前とは違った研修のあり方を模索してみることも必要です。全県研究会もいろいろと計画します。ぜひ参加してみてください。

(研究会長 植松明彦)

理科

こんにちは。理科教育研究会です。「ものに即して学び、ものに即して教える。」これが、1970年代以降当研究会の底流をずっと流れるポリシーです。このポリシーに立って、現代社会が抱える諸問題(環境、エネルギー、防災・減災、平和と人権

等)を踏まえつつ、小中高大を見通した魅力ある授業作りを目指しています。

私たちは、肩肘張らない、身近にある自由闊達な実践と検証の交流・研修の場を提供したいと考えます。本年3月より運用開始した新 ML も含め、下記の HP 等でも情報発信・情報交換していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

■教文理科研究会の HP <http://www.avis.ne.jp/~someday/>

■ブログのページ <https://kyoubun-rika.blog.ss-blog.jp/>

■教文理科 ML のページ

<https://groups.google.com/forum/内のkb-rika> (非公開)



写真は、昨年の県教研理科分科会の様子です。

(研究会長 松井聡)

家庭科

家庭科研究会の主な活動は、全県学習会、県教研、家庭科教育に関する基礎調査、県教委との懇談会、家庭科情報、研究集録の発行です。各支部では、支部教研のほか支部独自の研修会や公開授業を行っています。社会や暮らし、生徒の状況、民法改正、学習指導要領の改訂等刻々と変化する現状に対応していくために、学び合う研究会です。各校家庭科教員が1人のところも多くなか、自分の授業を振り返り新たな授業のヒントを得ることができます。新規加入、再加入歓迎です。一緒に活動できることをお待ちしております。

(研究会長 藤澤秋津)

技術・職業

技術・職業教育研究会は農業科・工業科・商業科で構成する研究会です。県教研では中学校の技術科の先生方と一緒に分科会を組織しています。



「高校改革～夢に挑戦する学び～」は専門教育に対して、産業界のニーズにあわせた人材育成の教育を求めるとともに少子化がすすむ現状にあわせた小学校の統合や総合技術高校への再編を求めています。第2期高校再編により専門学科における極度の専門性の希薄化が危惧されます。

本研究会では地域と共生した日々の授業実践を交流し合うことにより、それぞれの地域で果たしている専門学科の役割について更に共通理解を深め、専門教育の縮減に対して歯止めを利かせたいと考えています。

是非、多くの先生方の会員登録ならびに研究会への参加をお待ちしています。
(研究会長 篠原章浩)

学校づくりと教育課程

みなさんこんにちは。



私たちの研究会は、各校教育活動の中樞を成す教育課程づくりと生徒参加・保護者協働の学校づくりについて、大いに語り合う場となるよう心がけています。

ここ長野県には、生徒・地域・教職員による三者協議会や保護者を含めた四者協議会といった、先進的な取り組みをしている高校がいくつもあります。

そうした取り組みに学びながら、主権者教育とは何か、語り合いませんか？
(研究会長 菅沼達勇)

定通教育

「定時制や通信制ってどんなシステムなんだろう」、「定時制や通信制に通っている生徒は生徒会活動や部活動はどうしているんだろう」、「他の定時制や通信制の先生の授業ってどうなんだろう」、貧困、低学力、健康問題(食育)、不登校、発達障がい、特別支援、外国由来の生徒…、高校教育の矛盾や課題が集中的に現れているのが定通制の現場だと思います。近隣に定時制や通信制の学校がほとんどなく交流もなかなか思うようにできないのが現状ではないでしょうか？

本研究会の会員は固定化・高齢化・硬直化・化石化していると思うように研究会活動ができないのが現状です。「研究」というと大げさですが、悩みや課題を共有し交流することから始めようと思っています。若い定通制現場で勤務している方(いずれ定通制で勤務してみたいと思っている方)の参加を希望します。
(研究会長 柳澤宏至)

青少年文化



「青少年文化研究会って……」

みなさん、こにゃにゃちは。青少年文化研究会の長老「じいさん会長」こと、村澤晃です。名前を聞いたことありますか？知っている人は知っている、陰の人気者です。本人が言うのだからきっと正しいと思います。まあ、それはさておき、青少年文化研究会って知っていますか？知らない人は、是非とも研究会に入って、一緒に活動しましょうね。騙されたと思って、一度入会してください。一度足を踏み入れたら、楽しくて、二度と抜けられなくなります。昨年度は、「生徒会活動」に焦

点を当てて、全県の生徒会長さんにアンケートを取りました。貴重なデータを得ることができました。本年度も何か調査をしたいと思います。みなさんの力が必要です。とぼとぼのじいさんに力を貸してください。おねげしますだ。

(研究会長 村澤晃)

進路指導

勘違いをされている先生方も多いようですが、進路指導の係でないと参加できないということはありません。卒業する高校生の指導は、結局、進路指導になるわけですから、すべての高校教員が対象になります。

進路指導は現在様々な問題を抱えています。進学(高大接続改革)は「大学入学共通テスト」「高校生のための学びの基礎診断」「英語の民間試験活用(中止となる)就職は「労働者派遣法」「景気の減速」「ブラック企業」上げればきりがありません。その中から毎年、テーマを決めて、2度の全県研究会を行っています。以下の日時を御予定ください。(変更もあり)

全県研究会(進学)2020年9月27日(日)

全県研究会(就職)2021年2月6日(土)

要項は1ヶ月ほど前に各校のに配布されますので御覧ください。い。ぜひ、積極的な参加をお願いします。

(研究会長 宮入弘志)

地域と環境教育

県内各地でフィールドワークをしながら全県研究会を行っています。前回で42回の研究会を実施している歴史ある研究会です。最近では、大学や市民の方々との連携を深めながら各地域で取り組まれている環境問題や地域の課題を中心に学習や研究を進めています。ぜひとも一緒に身近なところから地域の課題や環境問題について考えてみませんか。

【最近の全県研究会】

*「信州安曇野の農業の魅力に学ぶ～地域づくり・人づくりと新たな取り組み～」(松本市、安曇野市)

*「諏訪地域で諏訪湖を中心とした官民の環境保護の取り組みに学ぶ」(諏訪市、富士見町)

*「大鹿村で鳥獣被害問題・リニア問題・地域づくりの現状と課題を学ぶ」(大鹿村)

(研究会長 西澤秀夫)

教育史・教育法

忙しい中で疲弊させられ、



依って立つ所を見失いがちな昨今。

教育を大きな歴史の文脈の中で考えてみませんか。教育はどうなっていくのか？

社会はどう変わるのか？5月16日「現在の教育を考える」研究会やります。

(研究会長 中村富貴子)

特別支援教育



ある特別支援教育 Co のつぶやき「これまで“発達障がい”について専門的に学ぶ機会もないまま、分掌ではコーディネーターとなり必要に迫られてやってきた数年間。自信がないままに特性のある生徒と向き合うのはホントのところ苦しい・・・」教育現場における積み重ねは大きな力となり、どこから見ても上手く役割をこなしているこの特 Co のつぶやきは「謙虚」としか言いようのないもの。しかし、特 Co でなくても多くの方が共感できるつぶやきなのでは！？

特別支援教育は連携と協力が何よりも大事。教文会議という自主研修の場に参加して、共感しあえる仲間と思いを共有するだけでも解決に向かうことはたくさんあります。

昨年、生活指導とのコラボ企画で好評だった小栗正幸先生を今年の夏もお迎えます。テーマは「生徒理解」。ありがちな話から納得を引き出します。引き続きどしどしリクエストを下さい！まずは教職員のニーズに応えます。

(研究会長 北原恵美)

※アピール文がない研究会もありますが、活動しています！
ぜひ、ご登録ください。

◆教文委員さんを通じて、今年度の研究会登録をしてください。

教科別研究会と課題別研究会に登録をお願いします。

この他に特設研究会にも登録出来ます。

(1) 研究会組織

◆教科別研究会

国語、社会科、外国語、数学、理科（物理・化学・生物・地学）、保健体育、音楽、美術、書道、家庭科、情報、技術職業（農業・工業・商業）

◆課題別研究会

学校保健、事務、教育課程・学校づくり、定通教育、図書館教育、青少年文化、生活指導、進路指導、人権・平和・国際教育、教育条件整備、地域と環境、性教育

◆特設研究会

教育史・教育法、福祉教育、特別支援教育

(2) 各種研究会

◆総合研究会（年5回）・各研究会の全県研究会

講演は教育の最新事情、子どもや教育をめぐる情勢、教育実践の理論や方法論を学ぶことができます。参加者に大好評です。

2020年度年間予定

4月18日（土）

教文委員総会・第1回総合研究会（松本市勤福センター）
テーマ「ジェンダー平等教育を考える」

◆講師：牟田和恵さん（大阪大学）「学問・教育の危機とジェンダー～家族社会学者 / 杉田水脈裁判の原告として」

4月29日（水）

第1回運営委員会（松本筑摩高校）

6月13日（土）

教文定期代議員会・50周年祝賀会（長野市ホテル信濃路）

7月18日（土）

夏季合宿研・第2回総合研究会（松本市内）

テーマ「どう対応するのか？高校学習指導要領で変わる学力感・授業内容」

◆講師：河合美喜夫さん（中央大学特任教授）

講師：紅野謙介さん（日本大学）

7月19日（日）

夏季合宿研・第3回総合研究会（松本市内）

テーマ「生徒理解～トラブル対応の要点を中心に～」

◆講師：小栗正幸さん（日本LD学会名誉会員・元法務技官・宮川医療少年院長）

「高校における配慮が必要な生徒への生徒指導」（仮）

7月19日（日）

第2回運営委員会（松本市内）

9月前半

県下4地区で教育課程研究協議会

11月 7日（土）・8日（日）

県教研（長野市若里文化センター

長野東高校・長野市立三陽中学校）

◆講師：内田樹さん（神戸女学院大学名誉教授・武道家）

「教育の危機 教育の未来」

11月23日（月・休）

第4回総合研究会・第3回運営委員会（中信地区・会場未）

1月23日（土）

第5回総合研究会（中信地区・会場未）

2月20日（土）

第4回運営委員会（中信地区・会場未）

※ 支部教研や各研究会の全県研究会、総合研究会の詳細などすべてのお知らせ、申込書などは教文 HP にアップします。
ぜひご覧ください。



←教文 HP はこちらから